

核燃料物質事故増加報告書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

原子力規制委員会 殿

住 所 代表（本社）の住所
氏 名 法人名

代表者の役職名及び氏名

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び国際規制物質の使用等に関する規則第48条第27項の規定により、次のとおり報告します。

氏 名 又 は 名 称		法人名	
		法人名の英語表記	
法 人 に あ っ て は 代 表 者 の 氏 名		代表者の役職名及び氏名	
住 所		*000-0000 代表（本社）の住所	
工 場 又 は 事 業 所	名 称	（法人名称は除く。）核物質を扱う事業所	
		核物質を扱う事業所の英語表記	
所 在 地		*000-0000 事業所の住所	
		事業所の住所の英語表記	
使 用 の 場 所	名 称	（法人名称・事業所名称は除く。）核物質を扱う場所（「〇階」「～室」）	
		核物質を扱う場所（「〇階」「～室」の単位まで。）の	
所 在 地		*000-0000 使用の場所の住所	
		使用の場所の住所の英語表記	
核燃料物質計量管理区域の符号			
上 記 の 事 業 所 等 の 連 絡 先	名 称	連絡可能な連絡先名称	
	所 在 地	*000-0000 連絡可能な連絡先	
	姓 名	連絡可能な連絡員氏名	電話番号
	所 属 部 署	所 属 部 署	電子メールアドレス XXXX@.jp
事 故 増 加 年 月 日		許可取得日	
核 燃 料 物 質 の 区 分		(注3)	
供 給 当 事 国		その他	
元 素 重 量		(注5)	
発 見 さ れ た 核 燃 料 物 質 の 情 報	化合物又は混合物の重量	(注6)	
	物質の形状	(注7)	
	化合物又は混合物の名称	(注8)	
	容器の種類	(注9)	
	物質の品質	(注10)	

①既に国際規制物質使用の許可を得ている場合MBA符号は、国から送付された許可書に記載の番号を記入します。
まだ国際規制物質使用の許可を得ていない場合は空白のままとします。

②事故増加年月日は、核燃料物質を発見した日ではなく、許可取得日と記入します。なお、既に国際規制物質の使用許可を得ている場合には、実際に発見した日付を記入します。

③管理下でない核燃料物質の発見に係る報告書に記入した、天然ウラン、劣化ウラン、トリウムのいずれかをプルダウニリストから選択します。複数の核燃料物質を発見した場合には、次ページ以降にそれぞれ記入します。

④供給当事国は、ラベル等に製造国名が表示されている場合であっても、その他と記入します。

⑦プルダウニリストから金属等の固形物、精製された均質の物質、高純度仕様に合致する物質、非均質物質（スクラップ等）、各種組成の物（汚染スクラップ又は廃棄物）いずれかを選択します。
（例）試薬瓶にメーカーラベルが貼り付けてある場合には、精製された均質の物質となります。

⑨プルダウニリストから容器なし、500 ミリリットル未満の小さな容器、500 ミリリットル以上1 リットル未満の容器、その他のいずれかを選択します。

⑧プルダウニリストから酢酸ウラニル、酢酸ウラニル亜鉛、硝酸ウラニル（六水塩）、硝酸ウラニル（四水塩）、塩化ウラニル、二酸化ウラン、三酸化ウラン、八酸化三ウラン、金属ウラン、硝酸トリウム（六水塩）、硝酸トリウム（四水塩）、酸化トリウム、金属トリウム、その他（ ）のいずれかを選択します。
試薬瓶ラベルに記載された核燃料物質名称を記載下さい。また、ラベルに汚れがあつて核燃料物質名が読み取れない場合には別途保障措置室まで連絡下さい。

⑤ウラン鉱、天然ウラン又は劣化ウランの区分に属するものにあつてはウランの量、トリウム鉱又はトリウムの区分に属するものにあつてはトリウムの量をグラムの単位で記載し、1グラム未満の端数は、四捨五入します。
元素重量は、化合物の分子量に占めるウラン又はトリウムの分子量から算出します。
⇒元素重量の換算について

⑥化合物又は混合物の量をグラムの単位で記載し、1グラム未満の端数は四捨五入します。
・未開封の試薬瓶を発見した場合は、試薬瓶のラベルに記載の重量を記入します。
・開封済み試薬瓶、ラベルに重量の記載がない等核燃料物質の重量がわからない場合は、⇒秤量方法、重量の決定を参照し確定した重量を記入します。

⑩プルダウニリストから粉末、分析用小試料、分析用小試片、その他固体（混合物は除く。）、溶液のいずれかを選択します。